

ゆめトピア長船周辺整備に大切なコンセプト

今後の計画として、ゆめトピア長船に長船町公民館が移転する予定となっており、ゆめトピア長船周辺は、長船町公民館の移転と整合性をもって整備する方向となります。ゆめトピア長船の周辺整備にあたっては、下記のコンセプトを取り入れることを検討し、全世代が利用可能な広場としての環境整備につなげます。

■ 全天候型の遊び場「こどもパーク」として整備する

- ◆乳幼児から小学生まで幅広い年齢の子どもたちが、遊ぶことを楽しめる広場を目指します。
- ◆市民からの希望が多い、屋内で遊べる環境を設けます。
- ◆ゆめトピア長船南側玄関前の付近に遊び場を整備することで、子どもを持つ保護者が室外、室内、授乳室などを、有効に使用できるようにします。

■ まちなかで気軽に外遊びを楽しむことができる

- ◆のびのびと身体を動かして遊べる芝生広場や水や砂や木など、自然の素材で遊べる広場を設けます。
- ◆手洗い場や足洗い場を設けます。
- ◆日陰を確保できるベンチなどを備えた休憩所を考えます。
- ◆乗り物遊具を楽しめる場を考えます。

■ 子ども向けの室内遊具の充実

- ◆室内でも身体を動かして遊べる遊具を設置します。
- ◆子どもが安心して遊べるように、安全性を確保します。
- ◆親子で楽しめる室内空間づくりを行います。

■ そこに行けば、人がいつもいる

- ◆そこに行けば、人がいつもいる広場が理想です。人がいるところに人は集まります。
- ◆子どもの遊びを、保護者だけでなく、みんなで見守ります。
- ◆訪れる子どもや大人の交流のきっかけをつくる場づくりを図ります。
- ◆外遊びを見守るスタッフが巡回します。

■ 大人がゆっくりできるスペース

- ◆座ってお茶を飲んだり、お弁当を食べたりできるスペースを確保します。
- ◆子育てやまちの情報を見たり、読んだりできる工夫をします。
- ◆大人同士が情報交換したり、交流できる工夫をします。

■ その他

- ◆ストックヤード（保管場所）を設け、外で使用する遊具や備品を保管します。
- ◆周辺に駐車場を整備し、必要な駐車台数を確保します。
- ◆歩行者通路は、着色して標示し安全性に配慮します。
- ◆誰もが利用しやすいトイレを設置管理することが必要です。